

## 研究等成果報告書

研究費の区分	基盤研究費・学部等研究費・全学プロジェクト等研究費 種目：学部プロジェクト研究費
研究課題	岩手県立大学における英語（外国語）教育改革：再編と新たなる構築
学部等・職・氏名	共通教育センター 英語科教員（代表：講師・高橋英也、講師・高野泰志）
研究成果の概要	<p>本研究においては、本学における現行の英語（外国語）教育の問題点を列挙・整理し現行カリキュラムを抜本的に見直すことを目標として、特に英語教育に関して以下の2点を柱にすえて研究を行った。</p> <p>(1) 大学の一般教育における英語教育のあり方に関する調査・研究</p> <p>(2) 本学の英語カリキュラムの見直しに関する研究</p> <p>(1) については、19年2月21日に開催された「2007年 TOEIC 研究会（大阪）」に出席するなどし、TOEIC を利用した他大学の英語教育の実践事例の検討を行い、その中で、習熟度別クラス編成への TOEIC Bridge 導入や TOEIC スコアの卒業要件化の可能性などについて議論を行った。同時に、連動する形で、(2) について「習熟度別クラス編成のあり方」を英語科の重要な検討事項の一つに掲げて過去の実施データの調査・検証を開始した。また、課外学習支援として、18年度後期（18年10月18日から19年1月24日まで毎週水曜5限後）に英語科教員全員の協力の下で「TOEIC 対策講座」を実施した。実施前後の受講者アンケート調査も行った。また、希望者対象の TOEIC 学内受験を例年同様に前・後期1回ずつ実施し、各回20名程度の受験実績を得た。カリキュラムの見直しについては、新学部構想が進行中といった状況の中であり、限られた議論には留まったが、現行のカリキュラムの問題点は整理され、個々の英語教員の間で議論の基盤となる共通認識はできたと思われる。</p> <p>以上が研究成果の概要である。現在、本学の英語教育（ならびに英語以外の外国語教育）のあり方が注目されている。現状の問題点の整理を行えたことで、今後のさらなる継続的研究に進む基盤はある程度整ったと言える。</p>